



誰かの道標

感動の卒業証書授与式

3.8(金)は第74回北部中学校卒業証書授与式をコロナ禍前のようなスタイル(壇上)で行いました。今年度は在校生(2年生)も参加し、「仰げば尊し」をみんなで歌唱することができました。また、最後は3年生全員がステージに並び全員構成詩(別れの言葉と「サザンカ」を歌唱)で、感動の卒業証書授与式になりました。

卒業生代表の津元あかりさん(3-1)は、「私たち卒業生は一人一人の個性を大事にし、北極星のように誰かの道標(みちしるべ)になれるよう、この学校に誇りをもって歩いていきたいと思っています。」と答辞を述べてくれました。

この「道標」とは、「道の方向や距離などを示す標識」「物事の順序を教える手引き役」を意味します。3年生の皆さんは最上級生として、体育大会や合唱コンクールの成功を目指して後輩の皆さんの道標になってくれました。また、生徒会活動「笑顔プロジェクト」は道標となる活動でもありました。

卒業生の皆さんがつくってくれた道標は、しっかりと後輩の皆さんが伝統になるように引き継いで頑張ってくれます。

これはから一人一人の進路は違いますが、卒業生の皆さんの活躍を祈念しています。



熊本の魅力を台湾へ発信

3.13(水)14(木)は台湾の高雄市立中山國民中有学校とオンライン交流会を行いました。

14日(木)は、代表生徒の皆さんが、視聴覚室から「トリアビア3択クイズ」と「Kumamoto SDGs」を見事に発表してくれました。台湾の中学生の皆さんが、熊本からの発信に反応してくれるとうれしい気持ちになりました。1年生が頑張る様子を参観された市教委等の皆様から褒めていただきました。

4組代表グループの皆さんは、交流後のKKTの取材に「プレゼンを英語で発表するのは、たいへんだったが、台湾の中学生と交流することは、わくわくした学びになりました。」と感想を話していました。

外国との貴重な交流が今後の学びにつながることを期待しています。

ようこそ北部中へ! 新入生体験訪問



3.12(火)の午後は、入学前に新入生の皆さんの不安等を少しでも取り除くことができるように新入生体験訪問を実施しました。

6年生の皆さんは、前半に6つの教室に分かれて体験授業、後半は全体会を体育館で行いました。

生徒会の皆さんが中学校生活の様子を劇風にしてわかりやすく伝えてくれました。

新入生(6年生)の皆さん、安心して中学校に入学してください。